

CLUB DE MANGA



@TAXCO

メキシコでは今、ガソリンの値上げに対する抗議活動が活発です。激しいデモや強奪事件が相次いでいることから、外務省が指定する渡航危険レベルもゲレロ州、ミチョアカン州を中心にレベル2に引き上げられました。ゲレロ州とはいえタスコ市ならば安全だと聞き、冬休みが終わる前に駆け込むように旅行してきました。が、あんなに小さな街にも戦車や軍人さんがいっぱい！そして少し遠くの方からは、ずっとデモの声が聞こえてくるという状態でした。

とはいえ町並みを楽しみ美味しいものを沢山食べ(笑)、友人に首を傾げられながらも(銀ではなく)点画の施された小さな木箱を1つ買い、無事帰って参りましたよ。この箱の中には木のいい匂いがぎゅーぎゅーと詰まっているので、私はこれ以上何も入れまいと決めております。大事にしよーっと。



メキシコの漫画クラブに潜入中！

冬休みが終わって、9日からは通常通り授業開始。平日は勉強に、週末は遊びにと必死こいておりますが、今回ここでご紹介したいのは、私が毎週土曜日に通っているメキシコの漫画クラブです。わたしはここで漫画好きのメキシコ人達と漫画談義に花を咲かせたり、小・中学生に簡単な絵の描き方を教えたりして過ごしています。新年最初の集まりでは、中学生の女の子達がなんとわざわざ私の好きなスパイク(『Cowboy Bebop』)やギンコ(『蟲師』)というキャラクターの絵を描いてプレゼントしてくれたりもしました。私もお礼に数枚描いたのですが、渡すと絶叫かつ泣きながら喜ばれてしまいました。(笑) 思うんだけど、メキシコの女の子達の感情表現はパワフルで自由ですごくおもしろい。彼女達は、他人を自分と同じ気持ちにさせる力みたいなものを持っている気がします。うーん見習いたい...(笑)。

日本人である私よりよほど日本の漫画やアニメについて知っている彼ら。クラブでは毎週1つのテーマが決められ、そのテーマに沿ってディスカッションをしたりレクチャーを受けたりした後、みんなでせっせと絵を描いていきます。前回のテーマは、なんと「手塚治虫」。彼の生涯や作風、その魅力について話し合った後、彼が強い影響を受けていたディズニースタイルのキャラクター達を、逆に手塚治虫風にアレンジして描くことに挑戦しました。これって無茶苦茶おもしろい試みですよ。しかもその中で、9歳の男の子が「手塚のマンガは僕には地味に見える！でもストーリーのメッセージが超強いと思う！」

というようなことを言ったのを聞いて、私はゾクゾクしてしまいました。彼にとって(そして私にとっても)、それはぶっちゃけ「昔の」作品。でもそこに同時代性みたいなものを切実に感じさせられてしまうのは、やっぱりすごい。私は小学生の頃に『ブラックジャック』を、予備校生の頃に『ブッダ』を本屋で立ち読みしてましたけど(あ、やだな、あくまで倫理の「勉強」ですよあはははは…)、その時本当に彼と同じ感想を持ちました。読んだ後割と素直に思っちゃうもん、真面目に生きてみたい、とか。

(笑)

この男子はいつも手のひらサイズの小さなノートを持ち歩いていて、そこには彼が魂かけて生み出し

ている、どこかシュールでかつユニークなキャラクター達の絵と、膨大な物語のアイデアが、時に文章で、時に図式でぎっしりと書き込まれています。文章は途中で途切れていたり、グシャグシャと塗りつぶされていたりもするのだけど、次のページにはまた新しい物語が始まっている。彼はその大事なノートを、スペイン語がいまいち分かっていない私にだけは惜しみなく見せてくれるのですが(笑)、他のメキシコ人には頼まれたって絶対に見せません。

彼の口癖：「ねえ！！僕のアイデア、絶対に真似しないでね！！」

ああ、なんてカッコいい人なんでしょう、私こういう人が本当に大好きです(笑)。メキシコから、世界中で大ヒットする漫画が描かれる日はどうやら間近みたい。そしてさらに思うことは、手塚治虫は肉体こそ失ったけれど、今だにこうやって、描ききれなかった物語の続きを(世界の)子供達に描かせてるんだなってこと。なんだよちょっと死んじゃいない、しつこいな、しぶとすぎだろ。なんかほんとに、尊敬しちゃうな。

どういうわけかこうして、メキシコ人からいつも日本のことを教わっているんです。日本の文化、日本の歴史、日本の言葉、日本人、そして世界の中の立ち位置みたいなもの。それは留学という経験の中で誰しもが感じるることなんだろうけど、時々本当にハッとします。時々本当に救われるし、時々本当にザクッと殺られます。知った方がいいことなら、外にも内にも無限にあるみたいで、でもその裏っかわには、(貧弱な自分では)知らなきゃ良かったと思ってしまうことがべったりこびり付いてたりもしていて、休んでる暇なんかなくて、最近ちょっと参ってきました。(笑) でも結局は、やっぱり楽しい。もっともっと頑張りたいなあ。



▲漫画クラブの友人達から貰ったイラスト

クラブには9歳から32歳までの、マンガやアニメ好きのメキシコ人が集まります。彼ら曰く、絵を描くときにはイケてるBGMが必須らしく、Daft Punkが流れたかと思うとDavid BowieやLed Zepなんかが流れたりもしておもしろいです。みんなちゃんと歌えるのが素晴らしい...手は、止まっている気もしますが 笑